

子どもたちの未来へつながる



地球環境を守るために

地球温暖化のしくみ

地球には、太陽からの光(熱エネルギー)が降り注いでいます。地球は太陽からのエネルギーで暖められるとともに、地球からも宇宙に熱を放出しています。

この太陽からの熱の一部を吸収し、地表から熱を逃がさない役目をしているのが、大気中の「温室効果ガス」です。

この「温室効果ガス」には、石炭、石油、天然ガスなどをはじめとする、化石燃料を燃焼させたときに発生するCO₂(二酸化炭素)などがあります。現在の地球の平均気温は14℃前後ですが、この「温室効果ガス」

が全く存在しなければ、地球の平均気温は今よりずっと低いマイナス19℃になるといわれています。

「温室効果ガス」は、地球を温かく保つ役割を果たし、かつては、海や森にほどよく吸収され、全体のバランスが取れ、わたしたち人類が住みやすく、生物の生存が可能な環境に保たれてきました。

ところが、19世紀の産業革命以降の人間社会は、化石燃料を大量に燃やして使うようになり、「温室効果ガス」の1つであるCO₂(二酸化炭素)を大気中に大量に排出するようになりまし

た。その結果、地球上の熱を吸収する量が増え、これまで宇宙に放出されていた熱

が地表でさらに吸収され、気温が上昇しています。これが地球温暖化です。

地球温暖化が進むとどうなるの

冬が温暖になり、夏がより暑くなるという問題だけではなくありません。一般的には、次のような影響があるといわれています。

●異常気象の多発

地球全体の気候が大きく変化し、干ばつや山火事、大雨や洪水などの災害が増加する。

●食糧生産の悪化

気候の変化に加え、水不足、農地の砂漠化、病虫害の増加により穀物の生産量が減少する。

●感染症の増加

マラリア、デング熱、ウエストナイル熱などの感染症が増加する。

●海面の上昇

気温、海水温度が上がり、水が溶け、海面が上昇する。

ツバルやモルディブなど太平洋諸国では、すでに島が沈んで、生活できなくなる人も出ている。

●生態系の崩壊

平均気温が1.5〜2.5℃以上上がると、地球の生物の20〜30%が姿を消すといわれている。ホッキョクグマは、現在、餌場である海氷面積の減少の影響を受けており、

2008年5月にはアメリカ政府が絶滅の恐れがある種に指定した。

●森林の砂漠化

森林などの植物が生育している土地が荒れて、植物の生育に適さない土壌に変化する現象で、CO₂(二酸化炭素)を最も処理する熱帯雨林の砂漠化は、深刻である。



毎日しよう

8つのエコチャレンジ
毎日の生活の中でも、ちよつとしたことでムダを減らし、環境にやさしくできることがたくさんあります。

■エネルギーを大切に

●早寝早起きをする
夜早く寝ると、照明などを使う時間が短くなり、エネルギーの節約になります。明るい時間にしっかり活動し、暗い時間に十分な睡眠を取ることは、体の調子を整えるためにも、とても大切なことです。

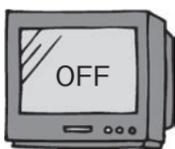


●テレビを見る時間を1時間減らす
テレビを見るには電気が必要です。電気をつくるために、石油や石炭を燃やすことで、二酸化炭素が出て、地球が温暖化します。電気を無駄使いたないようにし

ましょう。

ましよう。

●使っていない部屋の明かりを消す
誰もいないのに、照明がつきっぱなしの部屋がありませんか。もったいないので、こまめに消して、エネルギーを大切にしましょう。



■水を大切に

●歯磨き、手洗いのときに、水を出しっぱなしにしない
私たちが利用できる水は、地球上のたった0.01%。日本では、蛇口をひねれば当たり前のように出るけれど、水は限りある大切な資源。大切に使いましょう。



■ごみを減らそう

●ご飯やおかずを残さず食べる
ご飯やおかずは残すと生ごみになってしまいます。ごみを減らすためには、好き嫌いをせず、何でも残さず食べるのが大切。自然の恵みに感謝して、食べ物を粗末にしないようにしましょう。



●自分のものやみんなのものを大切に使う
「もったいない」の精神で、ものを大切にしましょう。ごみの量を減らすためにも、本当に必要な物だけを大切に使い、ごみになるものは買わない、もらわない生活を心がけましょう。



■リサイクルしよう

●ごみをきちんと分けて捨てる
私たちがごみとして捨てているものの中にも、資源として再利用できるものがたくさんあります。きちんと分別して出すことで、限りある資源を有効利用しましょう。



■自然を感じよう

●鳥や植物の声を聴き、セミやコオロギの声を聴く
町の中でもちよつと注意してみると、自然がいっぱい。花が咲いて、蜜を吸っている昆虫。鳥もスズメだけではありません。普段通る道や公園など、身近な場所から自然を観察してみましょう。7分に1種類、地球上から生き物が消え、生命あふれる美しい地球に危機が迫っています。自然を大切にしましょう。



雨水の利用について

雨水を家庭菜園などの水やりに利用するため、雨水を貯めるためのポリバケツを屋外に設置されているのを見かけます。これからの季節、このポリバケツにポウフラなどが発生しやすくなりますので、雨水がいっぱいになったら、フタをすするよう、ご協力をお願いします。

第2土曜日もごみの搬入ができます

町内の家庭から出るごみ(生ごみを除く)を環境センターに持ち込むことができます。

▽受付時間：平日、第2土曜日午前9時〜11時半、午後1時〜4時
▽持参物：運転免許証など

